

道母連だより

新年を迎えて



北海道知事
鈴木直道

新年明けましておめでとうございます。新春を迎えるに当たり、謹んでご挨拶を申し上げます。

社会福祉法人北海道母子寡婦福祉連合会にとりまして創立70周年の節目となる令和7年、皆様におかれましては、幸多き新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃から、北海道母子福祉センターを運営され、生活に関する相談やこどもの未来を応援する奨学金の給付、道庁など公共施設での清掃業務の受託による雇用の確保など、きめ細やかにひとり親家庭への支援に取り組まれていることに、深く敬意を表します。

昨年を振り返りますと、1月に

能登半島地震が発生し、日本全国が被災地を案ずる年初となりました。道からも被災地支援のため職員を派遣しましたが、貴会からも寄付金や物資支援が行われたと伺っており、その活動に心より敬意を表します。昨年はその後も地震や大雨などが全国で相次ぎ、さらに、物価高騰の長期化など、道民の皆様の命と暮らしを守る思いを一層強くする年となりました。

夏には、パリオリンピック・パラリンピックが開催され、本道ゆかりの選手の活躍に、道内は大いに沸きました。また、コロナ禍で開催が見送られていた「道母連研修会」が、5年ぶりに盛大に開催

されたという嬉しいニュースもありました。

本年は、全てのこども・若者が幸福な生活を送ることができ北海道を実現するため、新たな条例を制定し、こども基本法に基づく「北海道こども計画」を策定することとしており、現在、お子さんや若者の皆さんのご意見を踏まえて、検討を進めています。

本道の未来を担う子どもたちが置かれた環境にかかわらず、健やかに成長できるよう、今後とも、日常生活の相談や職業能力の向上、経済的な支援など、ひとり親家庭の皆様への様々なサポートに取り組んでまいりますので、引き続き、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新しい年が、皆様にとりまして、希望にあふれた素晴らしい年となりますよう心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

第102号

発行日/令和7(2025)年1月1日
発行/社会福祉法人 北海道母子寡婦福祉連合会
〒060-10031
札幌市中央区北一条東8丁目 北海道母子福祉センター内
電話 (011) 261-0447
●題字は山高しげり先生 ●印刷 樹アイワールド

年頭にあたって

理事長 畑 和子

新年あけましておめでとうございます。日頃温かいご理解とご協力をいただき心よりお礼申し上げますとともに、今年もよろしく願い申し上げます。

道母連では、就業自立支援事業や、各地区の子ども食堂、学習塾母子研修旅行などの、子どもの支援の取り組みを行ってきました。また、全国統一テーマを掲げ、4ブロック研修会を開催、各ブロックのサブテーマに沿って、真剣にそして和気あいあいと笑顔の一日を、出席して伺ってきました。

子育て、仕事、生活と悩みの多いお母さんたちが、孤独、孤立にならないよう、寄り添い、支えていくことを継続していきますが、ここで寡婦の支えも大いに重要としているところであります。

母子福祉センターの改修工事も終わり、安心して、新たな気持ちで利用していただけたらとお待ちしております。

お母さんの笑顔が一番です。明るく楽しい一年になりますように。